

# 令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

## 北九州市立 緑丘 中学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、2年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

### 1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

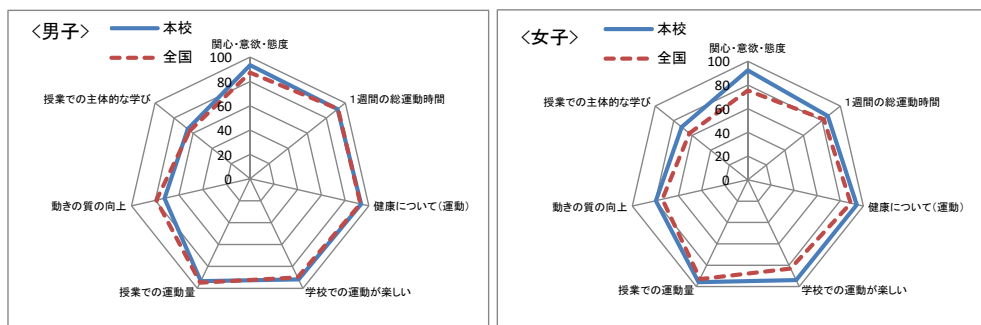
### 2. 本市における調査内容

#### (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

### 3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



#### 質問紙調査の結果分析

保健体育科の授業への興味・関心が高く、授業への主体的な学びやその他の項目も全国の数値と比較して高い。男子の動きの質の向上に課題が見られるため、タブレット等を活用し、自分の動きを客観的に見ることが出来る活動を今後も継続実施していく。コロナ禍において、運動時間の低下が全国的に言われているため、運動時間の確保は今後も継続しておこなっていく。

### 4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で)

体力向上のための運動量の確保と筋力低下(特に下肢筋力)を防ぐためのスクワットジャンプ等を取り入れた準備運動の実施を行う。主体的・対話的で深い学びの実現に向け、生徒一人一人が自ら目標を掲げ、活動していくように、アクティブ・ラーニングを取り入れていく。

#### ② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

2学期の後半より、長距離走を取り入れ持久力の向上に努めている。今後も、単元によって腕立て伏せやスクワットなど補強運動の工夫をし、各体力要素の増強を図る。また、保健体育や健康教育などを通して、運動の楽しさや適度な運動を継続する必要性を理解させる。